

TBS

사업 내용 개요:

- 비즈니스: 영화, 드라마(전체 방송사 포함), 아시아 콘텐츠, 무대, 스포츠 등의 영상 소프트웨어 제작, 판매, 배급, 스트리밍, 프로그램 판매, 투자, 상품화 등 폭넓은 사업 전개.
- 서비스: 프로그램, 스트리밍, 티켓, 쇼핑, 뉴스 등 다양한 서비스를 제공.
- 2030년 비전: "그룹 비전 2030"을 수립하여, 콘텐츠를 중심으로 방송 외 수익 확대 목표.
- 디지털 파트너십:
 - U-NEXT와 협력하여 스트리밍 서비스를 제공, 콘텐츠의 디지털 플랫폼 확장
- 장기적인 시리즈 및 국제 공동 제작에서 혁신적인 포맷
- 디지털 시대에 잘 적응하며 전통적인 방송 강점을 유지

업계 점유율:

事業規模: 3,681億円(業界3位)

事業の特徴: ドラマを強みに持つテレビコンテンツ

関連企業: 毎日新聞

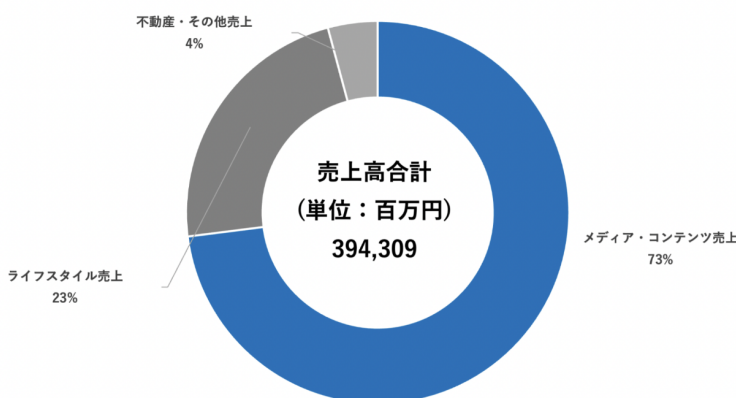
社風: 落ち着いて堅実な社風

매출:

- 3,681억 엔

특징/타사와 비교

2023年度 TBS セグメント別売上比率



- 드라마 강세: 番組の質の高さと制作環境の良さを兼ね備える「ドラマのTBS」
 - TBS는 '일요일 극장' 시간대에서 연속 히트작을 만들어내며, TV 시청자들의 큰 관심을 끌고 있음.

- 미디어·콘텐츠 사업:
 - 2023년에는 국내외 무료 및 유료 동영상 배급이 호조를 보였으며, '해리포터와 저주받은 아이' 무대의 성공도 큰 기여를 함
 - TBS의 드라마와 예능은 2024년 1~3월 프로그램 재생 수 랭킹에서 1위와 2위를 차지
- 라이프스타일 사업: 기존의 잡화 판매 및 뷰티 사업 외에도, 교육 및 지능 개발 사업에 본격적으로 진출했습니다. 2023년에는 '야루키 스위치 그룹 홀딩스'를 자회사를 인수하며, 어린이들에게 꿈과 희망을 전하는 것을 목표

비전, 이념 ビジョン・理念

- 企業理念
 - TBSグループは、時代を超えて世界の人々に愛されるコンテンツとサービスを創りだし、多様な価値観が尊重され、希望にあふれる社会の実現に貢献してまいります。
- ブランドプロミス
 - 私たちは、さまざまなフィールドで心揺さぶる時を届け、社会を動かす起点を目指します。最高の“時”で、明日あすの世界をつくる。
- TBSグループのブランドメッセージ
 - ときめくときを。

경영자의 인사글, 経営者の挨拶文

TBSホールディングス代表取締役社長の阿部龍二郎です。

「テレビ産業はこれから厳しい」と仰る方がいますが、私は「実はチャンスだ」と考えています。放送業とは、そもそも公共の電波をお預かりしてコンテンツ制作力を競い合うビジネスです。TBSグループは創業以来、ニュース、スポーツ、ドラマ、バラエティなどすべてのコンテンツ作りに努力を重ねてきました。私自身もコンテンツを作り続けてきた1人です。

デジタル技術の進展のおかげで、リビングのテレビだけではなくスマホやタブレット、さらに海外にもお届けできる環境になりました。つまり、魅力あるコンテンツを作れば、これまで以上に広がる状況になったのです。

今夏に公開した映画『ラストマイル』は、「シェアード・ユニバース」という新しいアプローチで製作し、大ヒットを記録しました。「シェアード・ユニバース」とは、人気ドラマ『アンナチュラル』『MIU404』と同じ世界線で物語が展開し、各出演者がドラマと同じ役で映画に出演するという構成です。放送を起点とした2つのドラマが映画へと繋がり、映画の公開によって、再び多くの方に過去のドラマを配信で観て頂ける機会となりました。まさにコンテンツの力が、放送とデジタルの融合によって新たなチャンスを得た成功例と言えます。

「最高の“時”で、明日の世界をつくる。」これが、私たちのブランドプロミスです。私たちTBSグループは「最高の“時”」を提供し、「心揺さぶるもの」すべてをコンテンツと定義しています。放送だ

けではなく、ライフスタイル事業や不動産もコンテンツであり、去年、本格参入した知育・教育事業も同じです。新たな時代に向けて2024年を「グローバルビジネス元年」と位置付け、北米と韓国にビジネス拠点を設置しました。

東京・赤坂の地を「AKASAKA」へ。

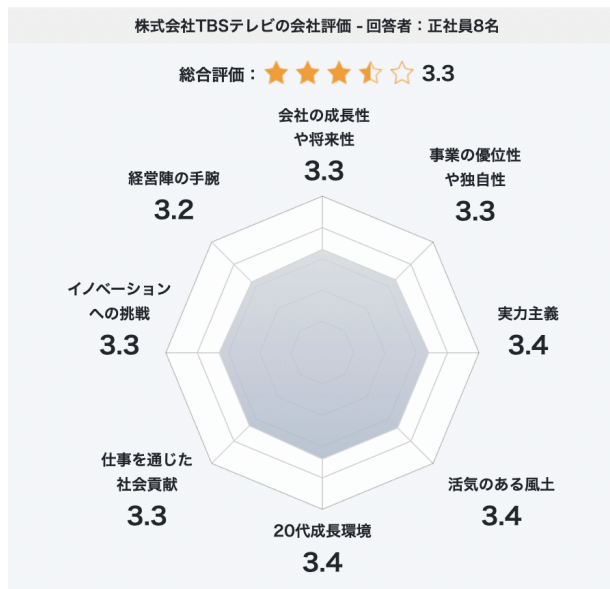
そして、そこからライブエンタテインメントや文化をお届けし、さらなる賑わいを創出するための「赤坂エンタテインメント・シティ計画」も2028年の竣工に向けて順調に進んでおります。

TBSグループは、今後も常に新しい挑戦を続けます。そして、テレビやラジオというマスメディアとしての社会的使命や信頼を失うことなく、安全や安心を訴え続ける社会的責務をしっかりと果たしてまいります。今までに観たこともない魅力あふれるコンテンツを生み出し、日本だけでなく世界中の人々に笑顔や喜び、感動をお届けできるよう力を尽くしてまいります。今後も、ますますのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

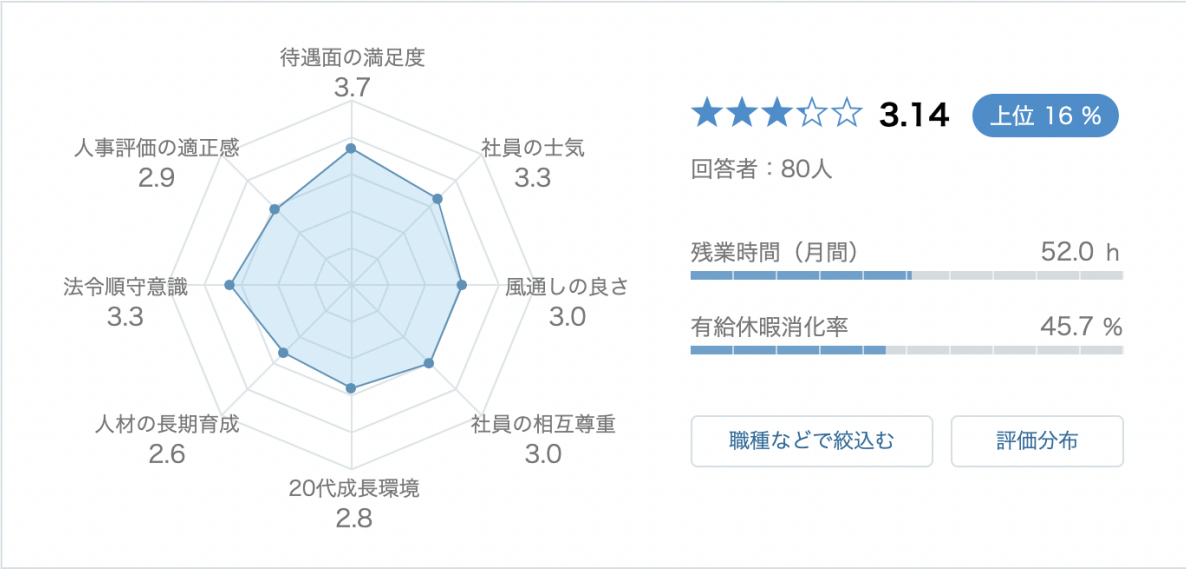
株式会社TBSホールディングス

代表取締役社長

評判・口コミ



社員による会社評価スコア — 株式会社TBSテレビ



株式会社TBSテレビの評判・口コミ

企業カルチャー・組織体制

口コミ投稿日: 2024年05月29日

回答者: 女性 / 専門職 / 現職 (回答時) / 新卒入社 / 在籍3~5年 / 正社員

★★★★☆ 3.4

企業カルチャー・社風:
比較的参加メンバー全員がモチベーション高く仕事を進めていく (そうでないと間に合わない) イメージですが、直前のちゃぶ台返しなどもないわけではありません。自由放任なので特に仕事術やマインドを植え付けられるわけでもなく時間が過ぎていきます。

ダイバーシティ・多様性:
業界の特性もあるためかあまり外国の方は見かけません。障害者雇用などは充実していると思います。

事業の強み:
IPを活かしたイベントやグッズに力を入れており、地上波やTVerで人気コンテンツを作り続けられている間はいろいろなビジネスにつなげられると思います。放送以外の軸となるような新規事業が今後立ち上がるのかは疑問です。

回答者による総合評価 ★★★★★ 2.3		回答日: 2024年08月18日	
▶ 待遇面の満足度	★★★★☆ 3.0	▶ 社員の士気	★★★★☆ 3.0
▶ 風通しの良さ	★★★★☆ 1.0	▶ 社員の相互尊重	★★★★☆ 2.0
▶ 20代成長環境	★★★★☆ 2.0	▶ 人材の長期育成	★★★★☆ 2.0
▶ 法令順守意識	★★★★☆ 2.0	▶ 評価の適正感	★★★★☆ 3.0
▶ 残業時間(月間)	200 h 以上	▶ 有給休暇消化率	0 %

* 外国人採用にあまり力を入れていない

- 昨年度・今年度 新卒募集内容
- 昨年度
 - 一般職<ジャーナリスト部門>

- 【テクノロジー部門】
- 【一般職（クリエイター・ジャーナリスト・ビジネス）】
- 今年度
 - 【デザイン職】
 - 【テクノロジー部門】
 - 【一般職＜ドラマ・バラエティ・ジャーナリスト・スポーツ・営業・ビジネス＞】